

# 令和5年度 第1回 大野市廃棄物減量等推進審議会の概要

日 時 令和5年5月15日（月）

午後7時00分～8時20分

場 所 結とびあ 302号室

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 議 事

（報告事項）

### （1）令和4年度のごみ処理状況

事務局から資料1ページから6ページにより説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：大野市の平成30年度からのリサイクル率の推移についても一度説明をお願いしたい。

⇒事務局：資料1ページの、「資源化量（売却量）」のスラグの資源化量の変動していることが要因である。スラグとは、焼却灰を溶かしたもので、路盤材などの材料となるものである。令和2年度にリサイクルルートが正常に機能しない時期があり、ビュークリーンで一時的にストックをしていた。通常の年の4割くらいを次年度の令和3年度に搬出しているため、変動が大きくなっている。資源化量に対するスラグの割合が大きいため、このようなリサイクル率の推移になっている。

### （2）令和4年度の廃棄物減量化及び資源化に向けた取組

事務局から資料7ページから9ページに基づき説明を行った。

質疑応答はなし。

### （3）プラスチックごみの分別収集開始について

事務局から資料10ページから14ページに基づき説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：県内2社のリサイクル業者というのは、どのようなリサイクル方法を取っている事業者なのか。資料にはポリプロピレンなどが挙げられているが、他のプラスチックでも、原料として売買できるものはあると思うが、まずはここに書かれているものだけを分別収集するということか。

⇒事務局：プラスチックのリサイクル工場があり、マテリアルリサイクルが可能な県内の事業者で、令和5年の現時点で処理対象物を扱うことができる事業者を想定している。

また、現在の施設内での保管場所の問題もあるため、収集品目を限定している。

○委員 : ゼロカーボンシティ宣言とは、2050年に二酸化炭素をゼロにしましょう、というものだったかと思うが、その目標に沿って今回の分別収集を行う、という理解でよいか。

⇒事務局 : プラスチックの資源化をし、少しでも焼却量を減らすことで、この大きな目標の達成に近づきたいと考えている。

○委員 : 搬入ごみの17%がプラスチックごみとは、年間の数値か。

⇒委員 : 年間である。ビュークリーンでは、3~4か月に1度、家庭から出てくるごみの種類がどのようなものなのか調査をしており、過去3年くらいの結果をもとに出した数値である。現在ビュークリーンに入ってくるごみの量が年間約18,000トン、その17%となると1,000トン以上がプラスチックになる。そこから、単位体積重量という国が出している指標を用いて、体積についても試算をした。

○委員 : 分別収集する品目について、どのくらいの量になることを想定しているのか。また、一時保管場所はどこを想定しているのか。

⇒委員 : 12ページに記載してある収集品目で、年間大体100トンほどになるという試算をしている。現在の駐車場をストックヤードとして使うということは、年末や大型連休明けに車が混みあうことを考慮すると、避けるべきだという結論になり、今の施設の中で有効活用できる場所を一時保管場所とすることを考えている。2階のプラットホームの空きスペースをプラスチックのストックヤードとしたい。週に1度もしくは2週に1度は搬出する想定である。

○委員 : プラスチックごみの分別収集は、福井県内でもう開始しているところはあるのか。また、来年4月のスタートに向けて、市民にきちんと理解をしてもらう必要がある。さらには、外国人技能実習生への指導も徹底していかなければならないと思う。

⇒事務局 : プラスチックの分別は、県内の他の自治体ですでに取り組んでいる事例は多数ある。多少汚れたものでも集めている市もあるが、処理施設で汚れたものと汚れていないものに選別をしているという実情がある。それをふまえて、汚れていないものを対象としたいと考えている。また、技能実習生に対しても、各事業所単位等で説明会の要望があれば、対応していきたい。

○委員 : 看板を作成するにあたっては、わかりやすいものにしてほしい。また、外国人技能実習生に対する説明については、言語の違いもあるため、他の市民よりも力を入れて行っていただきたい。また、不燃・ビンと缶を同じ曜日に収集することになるということだが、ビン、缶が資源ごみであるということがわかりにくい。表記の仕方を工夫してほしい。

⇒事務局 : 収集エリアやそれぞれの品目の量の問題で、このような収集方法案としている。看板やごみ収集カレンダーの表記について、改めて検討したい。

#### (4) その他

事務局から別紙に基づき説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：収集日が8週後になるというのは市民から苦情が出るのでは。

○委員：処理施設の関係でどうしても必要だという強い理由があるのであれば、受け入れられるが、現段階ではどうかと思う。

⇒事務局：処理施設との連携という中で、可能なら考えたが、委員の皆様の意見を参考にさせていただく。

#### 閉会

・副会長あいさつ